

留学だより No.3

前回の留学だよりからもう1ヶ月経ったって本当ですか？嘘ですよ？という感情を前回は抱いていた気がします。時が経つのは早いんですね。とは言うものの、この10月は私にとってなかなか濃い月でした。今回書きたい内容はおおまかに分けて2つです。

① AFS の旅行

今月の3日から9日まで、AFSの留学生たちとラパスに旅行に行ってきました。ボリビア全国各地に散らばった留学生がまた一堂に会するというので、とても楽しみにしていました。私の住むスクレからラパスまでおよそ400km、飛行機で行けば1時間なのですが許可を取るのが面倒だし高いということで、夜行バスで12時間かけて行くことになりました。因みに、夜行バスに乗るのは人生初でした。寝袋を持っていったのでなかなか快適でした。4日にラパスに着き、現地のAFSのオフィスに向かったのですが、やっぱりラパスは都会ですね。若干古びた東京という感じです。ラパスがこんなに都会ならサンタクルスはどうかでしょう。行ってみたいですね。オフィスに着いて荷物をおろしたあとは、ロープウェイに乗って、それとなく観光してきました。ロープウェイという山にでも登るかという感じがしますが、高低差がある地形のラパスでは日常的に使用されています。地下鉄みたいな感じですね。料金は3bs~6bsです。激安ですね。乗っている途中で眼下にマーケットが見えたので、次の駅で降りて買い物に行きました。ここボリビアでは、たくさんの種類の果物が廉価で手に入ります。私はマンゴーと苺を買いました。とんでもなく美味しかったです。コスパ最強です。その後はオフィスに戻って寝ました。マットレスがなく、床の上に直接、寝袋で寝たので若干体が痛かったです。

留学生全員が到着するのを待ち、次の日チチカカ湖に行きました。正直、広すぎて湖という感じが全然無いです。チチカカ湖の中には幾つか島があり、船でそこに向かいました。島といってもそんなに広いものではなく、その代わりに高低差が激しかったです。頂上に行くためにかなりの高さを登る羽目になりました。島を一通り周り、写真を撮った後は、船に乗って別の島に行きました。Isla del solという島です。山に登ったり(きつかったです)、遺跡を見たり、ガイドさんのお話を伺ったり、リヤマと触れ合ったりした後、島にあるホステルに泊まりました。

次の日には船で島を出て、また街に戻りました。街の中にあった教会に入ってみたのですが、キリスト像の血糊がリアル過ぎて若干怖かったです。友達とショッピングもしました。私が持っている可愛い服は汚したくなくて全部日本に置いてきたのですが、やっぱり可愛い服が着たくてこっちで買ってしまいました。ショッピングって楽しいですね。

その次の日は、Muela del diabloという山に登りました。山というか岩というか、山の上に大きな岩が乗っている感じのところ。岩登りはとても楽しかったです。1番高いところで4000mくらいだそうです。達成感と爽快感を感じずにはいられませんでした。

なんだかんだ観光を楽しんだ後、9日にスクレに戻りました。帰りのバスにどういうわけか行き半額で乗れました。ラパスは楽しかったのですが、やっぱり私はスクレが好きです。派遣先がこの街で本当にラッキーだったと思っています。

② 大統領選挙

ちょっとだけ真面目な話です。前置き長めですが、読んでくれると嬉しいです。

20日、ボリビアの大統領選挙が行われました。今回の大統領選挙の焦点は、2006年から大統領の座に就いているエボ・モラレスが勝利するかどうかにあります。着任当初、大統領として初の先住民出身である彼は、ボリビアの主な収入源の1つである天然資源の価格高騰を背景に、先住民の権利向上と格差是正の政策を打ち出し、最初の任期が終わった後もおよそ65%の支持率で再選しました。その後も好景気は続き、モラレス大統領は国民の支持を得て三選を果たしますが、2014年辺りから天然資源の価格が下がりだし、彼の支持率は下がっていきます。大統領は大統領の権力への執着が出てきたとの批判も高まり、2016年、モラレス大統領の四選の是非を問う国民投票が行われました。結果は否決、しかし大統領は最高裁判所に提訴し、最高裁判所は四選禁止規定無効の判決を下します。民意に反したこの判決に、国民の反感は高まっていました。

今回の大統領選挙で注目されたのは決選投票の有無でした。規定によれば、1位の候補者が40%以上を獲得し、かつ2位の候補者との間に10ポイント以上の差がつくと決選投票なしで大統領が決まります。何故この決選投票が重要なのかというと、もう1人の有力候補、メサ元大統領とモラレス現大統領の間で決選投票が行われた場合、野党勢力によりメサ元大統領が勝利すると見られていたからです。ボリビアの大統領選挙では、開票作業が行われている間、途中経過が逐一開示されていきます。選挙当日、開票作業が行われている間、決選投票が行われるとの予想が大半でした。ところが、突然開票作業の開示が中止されました。1日たった21日にまた再開され、その結果はモラレス大統領勝利、決選投票なしというものでした。何故、開示が中止されたのか、その1日の間に何が起こったのか。当然、不正が行われたとの疑念が浮かびます。こうしたことから、ボリビア全国各地で抗議活動や道路封鎖などが起こりました。11月1日現在もこのような運動は継続され、情勢は不安定なままです。街では毎日のように行進が行われ、死者が出ているところもあります。私がいるスクレは比較的安全ですが、それでも中心街では多くの人が集まって抗議活動が行われ、毎日、爆竹の音が聞こえてきます。もう12日ほど、外に出られず家の中にいる生活が続いています。この状況がいつまで続くのかわからずとても不安です。

ボリビアの今の状況についてより詳しく知りたい場合は、次のHPにアクセスしてみてください。AFSの留学生が作成したものです。

<https://bolivianreality.home.blog/>

写真を載せるのを忘れていたので最後に載せますね。そう言えばハロウィン終わりましたね。友達とビートルズの仮装をする予定だったのですが、大統領選挙に関するごたごたに紛れて立消えになってしまった感があります。因みに、私はリンゴ・スターをやるようにと言われていました。理由は、私には前髪があるからだそうです。確かに海外って前髪ある人少ないですよ。前髪がポピュラーな国って日本、韓国、中国、あとどこでしょうか。



宮下